

特別展 御霊屋改修記念

# 尾張徳川家と



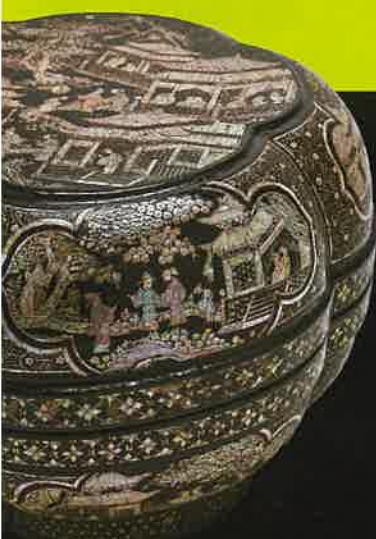
写真提供：株式会社便利堂

# 菩提寺 建中寺

2024 6.8 (土) → 7.21 (日)

Special Exhibition  
Commemorating the Renovation of the Mausoleum  
Kenchūji: Family Temple of the Owari Tokugawa Clan

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(但し、7/15(月・祝)は開館、翌7/16(火)は休館)  
観覧料 一般1,600円・高大生800円・小中生500円  
※20名様以上の団体は一般1,400円・高大生700円・小中生400円  
※土曜日は高校生以下入館無料  
主催 徳川美術館・徳興山建中寺・中日新聞社



## 企画展 ハマル! 工芸

Thematic Exhibition  
Captivating *Kōgei*:  
Get Immersed in Japan's Fine Craft  
主催 徳川美術館・名古屋蓬左文庫

徳川美術館 THE TUKUGAWA ART MUSEUM  
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261  
蓬左文庫 HOUSA LIBRARY CITY OF NAGOYA  
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町

# 尾張徳川家と 菩提寺建中寺



徳川家霊廟 唐門天井画見取図 迦陵頻伽  
原本：江戸時代 18世紀 建中寺蔵



建中寺本堂

徳興山建中寺は、慶安3年(1650)に歿した尾張徳川家初代義直を供養するため、その子である2代光友によって建立されました。以来、尾張徳川家の菩提寺として歴代当主やその家族たちにより堂宇が建てられ、宝物が奉納されるとともに、代々の位牌を安置する御霊屋や墓所が造られ、遺品が納められました。現在も、歴史ある建造物や由緒ある文化財が、威容を誇った当時の様子を伝えています。

本展では、建中寺が所蔵する宝物を中核に、所蔵の品々を通覧することで、尾張徳川家とともに歩んできた建中寺の歴史を紐解きます。また近年、修復が進められている建中寺の御霊屋についても紹介します。

※写真提供：株式会社便利堂



葵紋付黄金造師太刀拵(建中寺瑞龍院殿墓所出土、復元品) 昭和43年(1968)  
(金具：江戸時代 17世紀 徳川光友(尾張家2代)所用)

重要文化財 太刀(菊紋) 菊一文字 鎌倉時代 13世紀  
徳川忠貞(徳川秀忠3男)・徳川義直(尾張家初代)所持・徳川五郎太(同家5代)寄進



色絵犀形香炉 江戸時代 17世紀 徳川綱誠(尾張家3代)所用 建中寺蔵



国宝 初音時繪大角赤手箱  
江戸時代 寛永16年(1639)  
豊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用



紺紙金字仏説阿弥陀經 成誓那吞(建中寺第1世)筆  
江戸時代 17世紀 建中寺蔵

## 重要文化財

花鳥七宝繁文密絵漆金御供飯(部分)  
琉球 16~17世紀  
徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用



国宝 初音時繪机 江戸時代 寛永16年(1639)  
豊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用

漆工品や金工品、陶磁器などの工芸作品には、時に異なる素材が巧みに組み合わせられています。文様を彫り、別の素材を嵌め込む象嵌や、貝片を漆器や木地に嵌めたり貼ったりして装飾する螺鈿は、作り手の卓越した技術の結晶です。また様々なものを収める箱も木の組み方や収納の仕方に工夫が凝らされ、隙間なく嵌まるように作られています。

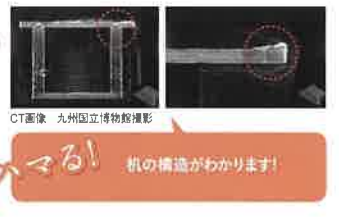
本展では数ある工芸技術の中でも、こうした素材や形がぴったりと組み合わせられた「ハマる(嵌る)」側面に着目し、工芸作品の様々な姿や秘密に迫ります。「ハマる」をキーワードに、工芸作品の輝き続ける魅力にもハマってみてください。



CT画像 東京国立博物館撮影



木目が異なり、精巧に組み合わされているのがわかります!



机の構造がわかります!

表面 仏涅槃図 江戸時代 17世紀 勘解由小路(尾張家2代光友側室)寄進 建中寺蔵 / 螺鈿梅花形様閣人物図食籠(部分) 明時代 15~16世紀 \*所蔵先の表記がない作品は全て徳川美術館蔵

関連企画 ※各講座・イベントの詳細は当館ホームページまたは右記QRコードよりご確認ください。



土曜講座  
①「漆工品の魅力にはまる」 学芸部学芸員 板谷寿美  
②「建中寺の歴史と宝物」 学芸部マネージャー 安藤香織

日時：① 6月15日(土) ② 6月22日(土)  
各日午後1時30分~午後3時(開場：午後1時)  
定員：各日80名(事前申込制ですべて満席)  
空席がある場合のみ各1,000円(入館料別途)にて当日受付  
会場：講堂

本格体験講座  
「螺鈿で彩る銘々皿」  
講師：鶴飼敏伸氏(漆芸家・日本工芸会正会員)

日時：6月16日(日)  
【午前の部】10時30分~12時30分(開場10時)  
【午後の部】14時00分~16時00分(開場13時30分)  
定員：各回10名(事前申込制・先着順)  
会場：講堂  
参加費：10,000円(税込/入館料別途)  
受付：5月21日(火)午前10時開始

建中寺ご住職の講話と見学会  
学芸員の見どころトークと展覧会図録付き  
講師：村上真瑞氏(徳興山建中寺住職)

日時：7月7日(日)午前9時30分~12時30分(建中寺 三門前受付：9時~)  
定員：60名(事前申込制・先着順)  
場所：徳興山建中寺(〒461-0003 名古屋市東区筒井1-7-57)  
参加費：2,500円(税込)  
受付：5月21日(火)午前10時開始

次回展覧会  
7月27日(土)~9月16日(月・祝)

夏季特別展  
もののふの備え 甲冑の美学



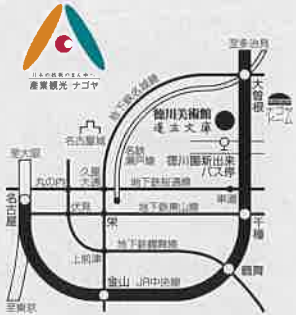
朱塗味木末威具足 徳川義直(尾張家初代)所用

馬とともに



黒漆桐紋鎧・籠 伊勢越前守貞頼作 徳川家康所用

便利でお得な  
オンラインチケット  
発売日：5/10(金) 午前10時~  
・5/10~6/7 前売券(割引あり)  
・6/8~7/21 通常観覧券



〒461-0023 名古屋市東区徳川町  
● 聖軒バス「徳川園新出来」下車徒歩3分  
● メーグル「徳川園・徳川美術館・徳左文庫」下車  
● JR中央線「大曾根駅」下車南口より徒歩10分